

川柳マガジンクラブ東京句会「月  
台東区入谷「朝顔川柳大会」参加

参加者

(川柳マガジンとして参加していただいた方)

加藤品子、北川キミ代、徳永博重、棚瀬くん  
じ、川崎信彰、伊藤三十六、白勢朔太郎、五  
十嵐淳隆、高田宣子、南野耕平、小倉利江、  
安藤紀楽、秋山和子、藤井茂子、村田倫也、  
関 玉枝、

木内紫幽、松橋帆波、植竹団扇

披講のみ参加 加藤鯉、山口兄六

参加は21名という事になります。

以下、抜句結果

「ああよかった」

新妻の手料理褒めてくれる義母

キミ代

落し物善意の人に救われる

キミ代

執念が実る年金領収書

(客)玉枝

薬屋がまだ開いていた食当り

紀楽

女房が家を出たまま帰らない

三十六

交番にちゃんと届いていた財布

帆波

「さあやろう」

パソコンを買ったぞ 明日は株長者

帆波

予備校の夏も球児に負けていず

(人)帆波

騙し絵と知って羊も立ち上がる

利江

まず習字次に遺言考える

倫也

ごみ屋敷やっど役所が腰を上げ

三十六

団塊を交えて町のボランテニア

三十六

シード校相手闘志が倍になる

紀楽

ライバルの回復という起爆剤

耕平

横丁の角まで掃けば鬱晴れる

品子

「がつくり」

衣替えあらあらの胴回り

くんじ

妻の名がすぐに出てこず口ごもる

耕平

ちがう列並んで待った三時間

耕平

尋ね人探し当てたら墓の下

(客)紫幽

結局はピエロで終る片思い

紫幽

試着室腹のメタボが無理と言う

和子

今日もまたハローワークに嫌われる

三十六

当てにした介護を妻に先立たれ

倫也

ローンだけ残して豪雨家を呑み

利江

空砲のつもりの辞表受け取られ

(人)利江

後五枚買えば当たった宝くじ

帆波

借金も同じだけある遺産分け

帆波

「おお神よ」

美しい娘になっていた息子

利江

生き下手な僕を愛妻置いて去り

利江

臍繰りを挟んだ本を捨てられる

倫也

空の旅決めた覚悟にベルト締め

玉枝

タッチの差今行ったのが終電車

宣子

雨乞いはしたが床上まで要らぬ

信彰

「いよいよ」

泣き止まぬ児にオッパイを含ませる キミ代

「いよいよ」

伊藤 正紀選

子が巢立ち老いの孤独が忍び寄る

和子

「ちよっかい」

脇屋 川柳選

我が家にもやっとおいでのコウノトリ 和子

各課題抜句数

霊園の勧誘電話ばかり来る

倫也

秀句 30 五客 三才 計 38 句

石油の値上げが寒い地図を描き (客)利江

CTV オペの日取りを決められる 淳隆

松橋帆波

「ちよっかい」

裁判になってセクハラだと気付き 帆波

なに痴漢娘も捨てたものじゃない 信彰

お隣の喧嘩にあわす周波数 耕平

アツアツの息子へ母のジャブが飛び 品子

もめさして外野に回る仏顔 成子

朝顔川柳大会

平成 19 年 7 月 8 日

於 台東区生涯学習センター

参加者 144 名。

課題と選者

「ああよかった」 大川幸太郎選

「さあやろう」 播本 充子選

「がつくり」 田島 世四選

「おお神よ」 米島 暁子選